記録担当：長沼

地盤品質判定士会中部支部

令和4年度　第４回　幹事会　議事録

Ａ．日　時　2022年11月2日（水）　15：00～16：30

Ｂ．場　所　基礎地盤コンサルタンツ（株）中部支社1F会議室及びZOOM

Ｃ．出席者　千野（W）、桃井、利藤（欠）、向井、谷口、長沼、居川（W）、高森、荒井（欠）、小嶋、斎藤（W）、堀中、倉橋（W）、山本（W）、品川（W）、金森（欠）、山名、植田（W）、小山（W）、後藤（W）

（（欠）は欠席、（W）はZOOM参加、敬称略、順不同）

Ｄ．配布資料

・報告-1　令和4年度第3回議事録

・報告-2　本部幹事会議事録

・報告-3　名古屋大学（減災館）協定書について

・報告-4　地盤に関する問い合わせ状況

・報告-5　その他（試験員参加（近畿）、被災宅地危険度判定士受講（大阪府））

・審議-1　技術講習会反省（予算・アンケート・集金システム・運営等）

・審議-2　防災フェスタ出展（出展・企画内容・役割分担）

・審議-3　その他（宅地の地盤相談、有償対応等）

Ｅ．報告事項

1.前回議事録の確認

桃井副支部長より前回議事録の確認があった。修正事項は特に無し。

2.本部幹事会報告

第４回本部幹事会は未開催（11/15予定）のため報告なし

3.名古屋大学減災連携研究センターとの防災教育・啓発活動に関する協定

千野支部長より10/26(水)名古屋大学減災館にて行われた協定締結式について報告があった。式典の模様については建設工業新聞、建通新聞などで紹介された。

4.地盤に関する問い合わせ状況

調査G品川幹事より10月に依頼のあった住民相談事例について報告があった（品川幹事対応、植田幹事も確認）。依頼情報だけでは場所の特定や地盤情報が不明であったため、リスクを排除できない回答となった。HPの相談シートに案内図などの情報添付を必須とすることも良いのではないか。

Ｆ．審議事項

1.技術講習会反省（行事G）

　行事G千野支部長、倉橋幹事より、アンケート・収支結果について報告があり、反省点や今後の課題について意見交換した。

・平日開催、WEB併用開催について賛同する意見が多数であったので、今後も同様の設定が望ましい。

・後援団体（地盤工学会中部支部、中部地質調査業協会）のHP上での広報が見られなかったので、次回以降では掲載依頼対応が必要。

・建築関連（建築士やハウスメーカー）の参加者が少ないので、同分野での広報を検討したほうが良い。

・講師の調整に時間を要したため、募集期間が短かった（広報が遅くなった）。できるだけ余裕をもって着手したほうが良い。

・講師によっては当日の質疑応答を省略されたため、事前に確認しておく必要があった。

・本部の講習会システムを活用したが、入力方法等わかりづらい部分もあり、改善の余地がある。

2.あいち防災フェスタ出展（行事G）

　向井顧問、行事G倉橋幹事より準備状況について報告があった。

・展示物については、名古屋大学減災連携研究センターのエキジョッカー、液状化ぶるる、地盤と基礎模型を借用する。パネルは原稿データからプリントして展示する。

・地盤相談については荒井幹事（ジャパンホームシールドのシステム）にお願いする。

・プリンター（地盤相談結果印字）、モニター（PR映像など）は倉橋幹事で手配する。

・地盤品質判定士会、地盤工学会中部支部のパンフを用意し、必要に応じて配布する。

・千野支部長、荒井幹事、行事Gが参加予定。その他応援として桃井副支部長、堀中幹事、斉藤幹事、山名幹事、後藤幹事が午前午後に分担して参加予定。

・当日、大府シティ健康マラソン大会のため交通規制が正午ごろまであることから、車の乗り入れには注意が必要。

3.住民相談の流れ・相談料に関して（調査G）

　調査G品川幹事より住民相談の流れ・相談料に関して報告があった。

・判定士幹事の相談対応表に基づいて調査Gで担当者を割り振っていく。

・判定士幹事の得意分野（調査、設計、施工など）を考慮して割り振るのも効率的ではないか（対応表に登録時の得意分野を追記しておく）。ただし、特定の判定士幹事へ偏り過ぎないよう注意が必要。

・当面は複数の判定士幹事で相談しながら対応するのが良い。

・施工（擁壁・地盤補強・盛土造成等土木工事全般）となる場合、中部支部幹事の所属会社で可能な対応は、現在、限定的(地盤補強・沈下修正)である。

Ｈ．次回幹事会の予定

　１月１９日（木）15：00〜16：30　次年度活動計画など。